

## 2 教育情報ネットワークの教育利用に関する学校調査の結果

### [ 設問 1 ]

本調査用紙を記入される方の校内における分掌等を回答欄に記入してください。なお、情報教育担当者又はネットワーク担当者の方は該当の欄に を記入してください。(記入される方が管理職の方の場合は、この欄の記入は不要です。)

### 【回答の状況】

次の図 2 - 1 と図 2 - 2 は [ 設問 1 ] における回答状況を示したものです。回答者の分掌は70%以上が情報教育担当者であり、中学校、盲・聾・養護学校、小学校の順に多くを占めています。高等学校における回答者の分掌ではネットワーク担当者となっている割合が56%を占める状況です。

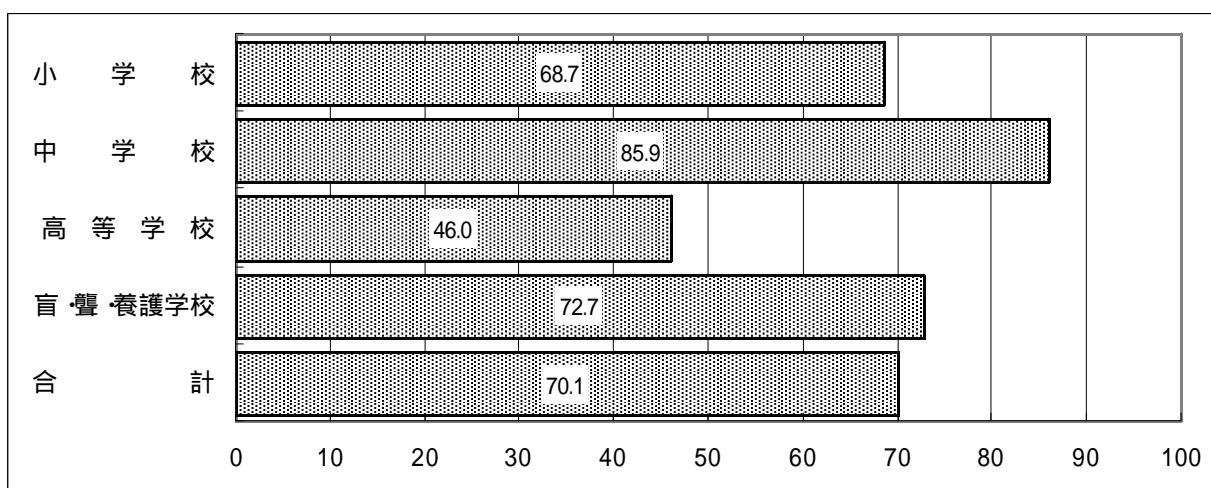


図 2 - 1 回答者が情報教育担当者である割合 単位 (%)

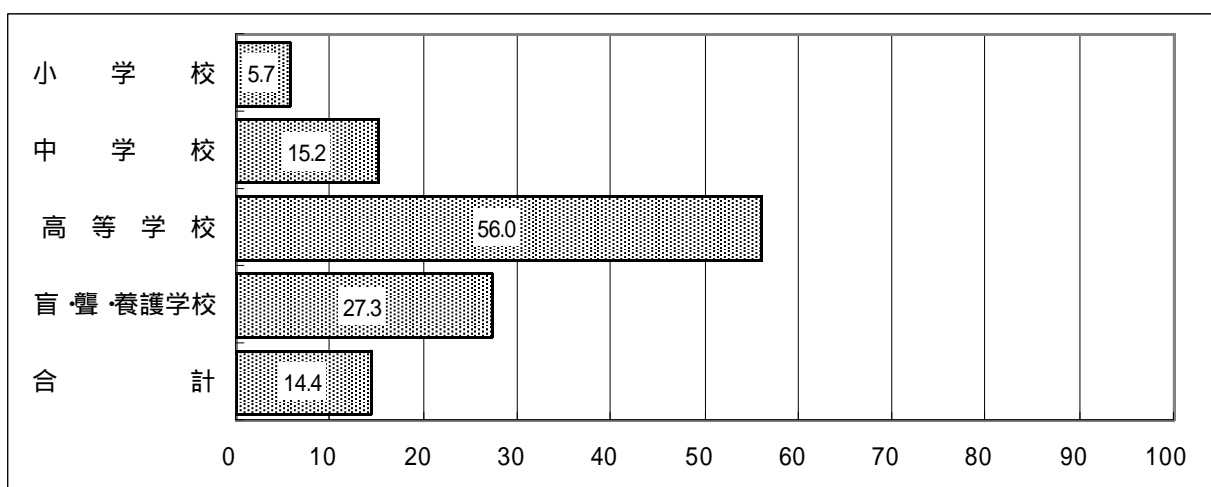


図 2 - 2 回答者がネットワーク担当者である割合 単位 (%)

【設問2】

本調査用紙を記入される方のコンピュータ経験年数及びインターネット経験年数について回答欄に 印を記入してください。

【回答の状況】

次の図2-3と図2-4は【設問2】における回答状況を示したものです。

これによると、回答者の54.1%がコンピュータ経験年数6年以上あり、コンピュータ経験年数2年以上の回答者合計は86.6%を占め、ほとんどの回答者はコンピュータ経験があることを示しています。

一方、インターネット経験年数については62.6%が経験しており、インターネットの利用が拡大してきていることが分かります。

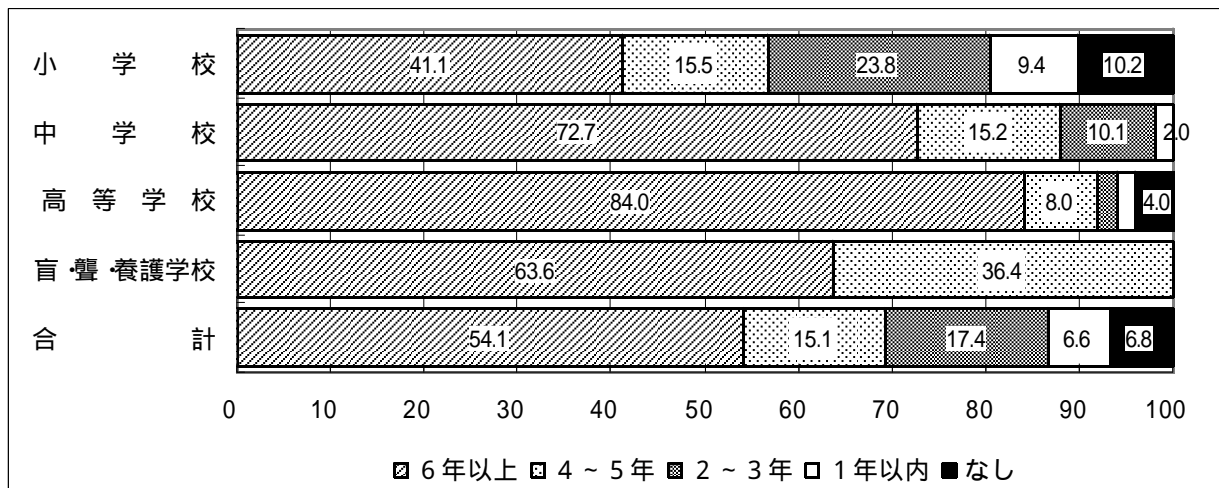


図2-3 回答者のコンピュータ経験年数 単位(%)

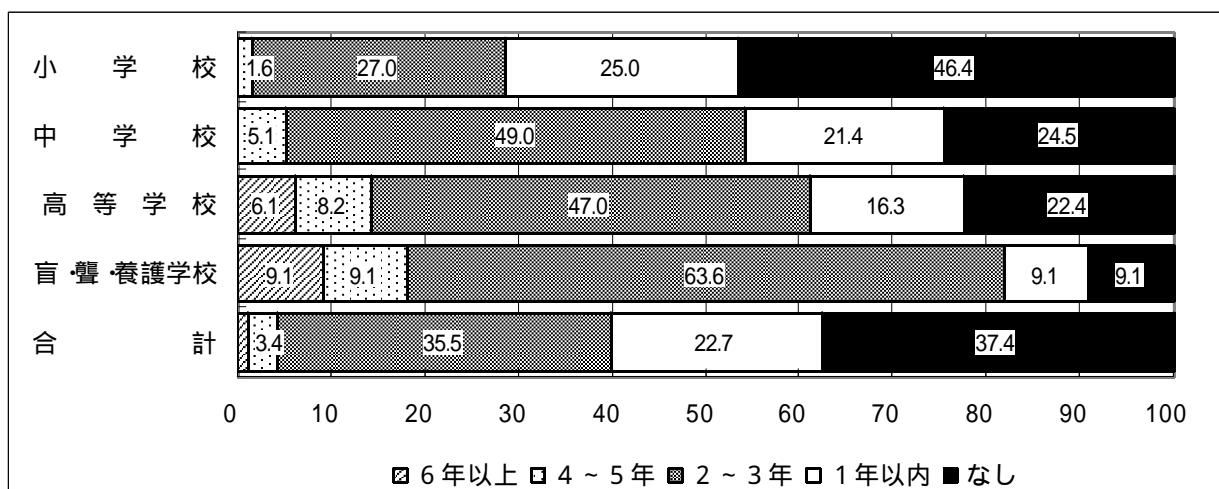


図2-4 回答者のインターネット経験年数 単位(%)

[ 設問 3 ]

あなたの学校に整備されているものについて回答欄に 印を記入してください。未整備の場合は、記入の必要はありません。(複数回答可)

その1 パソコン

(回答欄)	<input type="checkbox"/>	インターネットの利用が可能であるパソコン (OSにWindows95やMAC OS等を搭載しているもの)
-------	--------------------------	---

その2 ネットワーク

(回答欄)	<input type="checkbox"/>	パソコン室内LAN
	<input type="checkbox"/>	校内LAN

その3 インターネット接続用の電話回線等  
(この設問は小学校、中学校の方のみ回答してください。)

(回答欄)	<input type="checkbox"/>	インターネットとの接続に専用利用できる	ISDN
	<input type="checkbox"/>	一般の電話やFAX等と共用利用する	
	<input type="checkbox"/>	インターネットとの接続に専用利用できる	アナログ電話回線 (パルス式やトーン式 等の一般の電話回線)
	<input type="checkbox"/>	一般の電話やFAX等と共用利用する	
<input type="checkbox"/>	その他( )		

【回答の状況】

次の図2-5～図2-7は[設問3]における回答状況を示したものです。

まず、小学校、中学校のインターネット接続可能パソコンの設置率は、全体で67.9%となっています。中学校では、インターネット普及以前の早い時期に導入されたパソコンが現在も使われていることが考えられます。

次に、LANによるネットワークの整備状況は、全体的には3分の1強で、今後の整備が待たれるところですが、高等学校ではパソコン室と校内LANの両方がネットワーク環境で運用されているところが30.0%あり、何らかの形でネットワーク環境が構築されている学校を含めると74.0%となります。なお、パソコン教室が整備されていても、画面転送機能のみで、ファイル転送機能を備えていないものは含めていません。

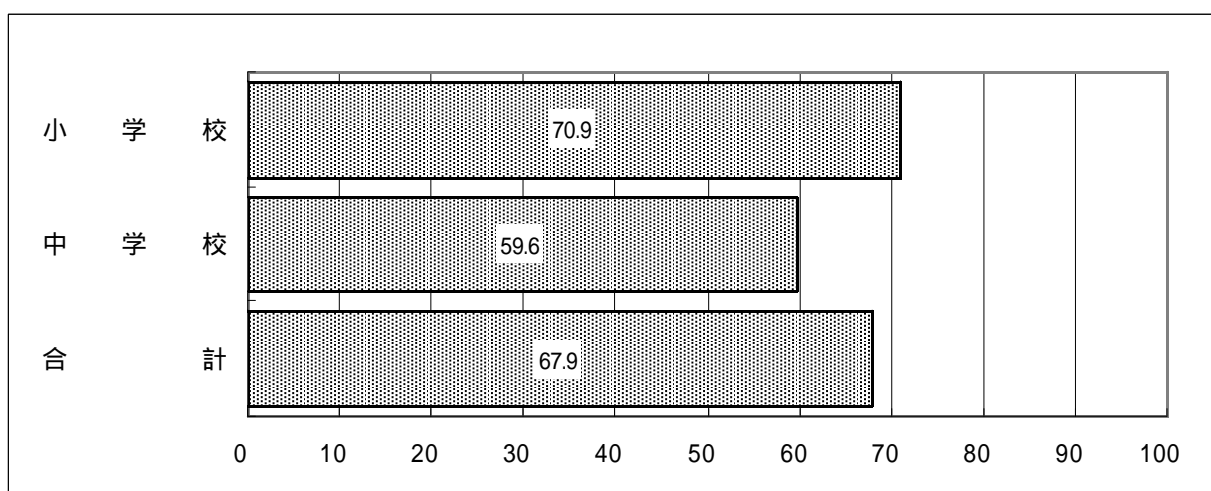


図2-5 インターネットの利用が可能であるパソコンの設置状況 単位(%)

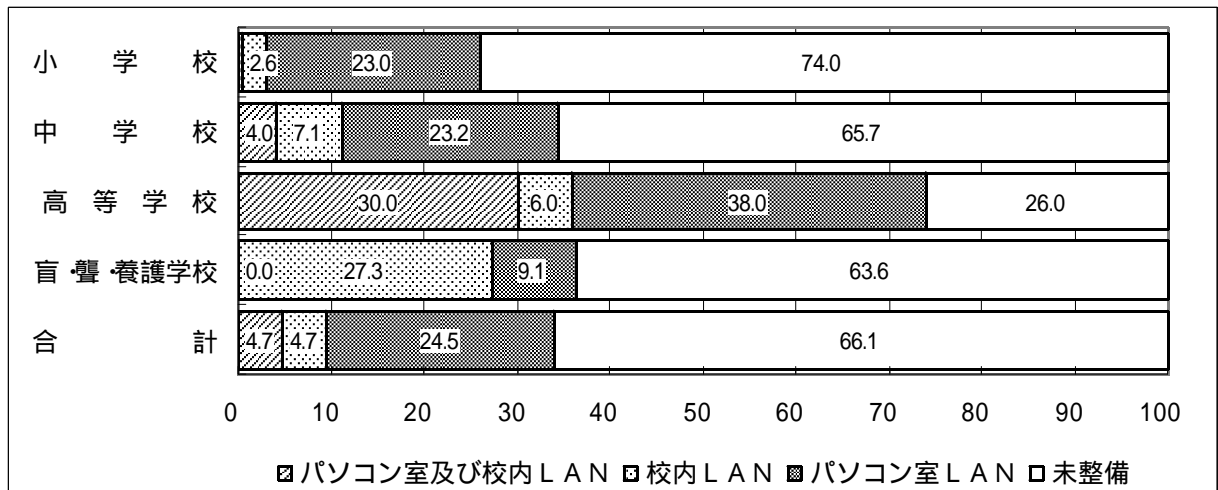


図 2 - 6 LANの整備状況 単位 (%)

更に、小学校、中学校における電話回線の設置状況については、インターネット接続専用のISDNを利用している学校が41.1%あり、共用のISDN利用を含めたISDN利用全体では70%近くとなり、ISDNが急速に普及しつつあることを示しています。

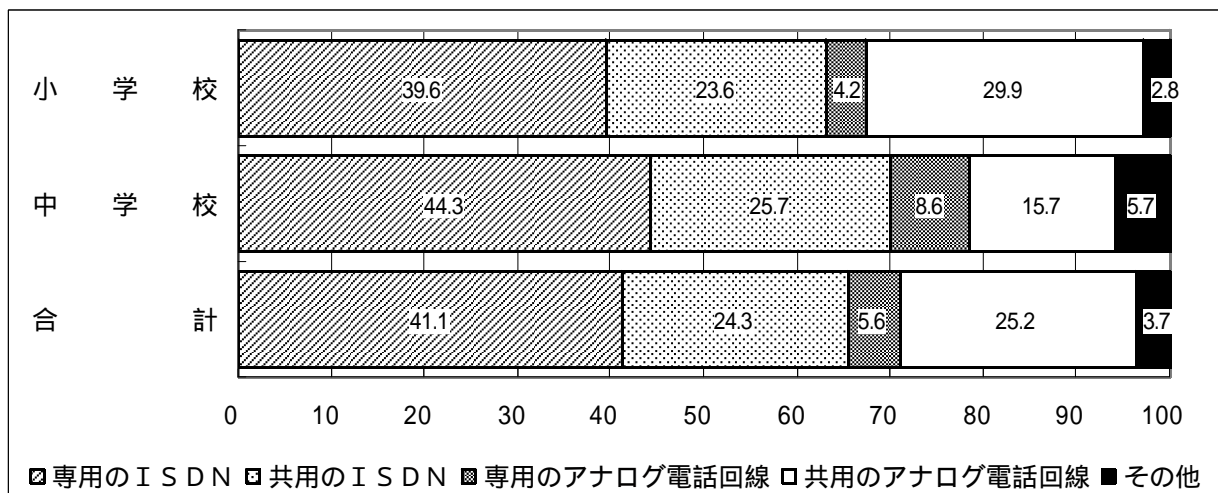


図 2 - 7 電話回線等の設置状況 単位 (%)

【設問4】

あなたの学校は、インターネットと接続していますか。該当するものについて回答欄に 印を記入してください。(複数回答可)

【回答の状況】

次の表2-3は【設問4】における回答状況を示したものです。

学校調査を実施した平成10年9月末では、小学校の27.9%、中学校の38.4%がインターネットと接続されていることがわかります。なお、2月末現在で京都みらいネットへ接続している学校は、小学校85校(32.1%)、中学校35校(35.4%)、合計120校(33.3%)あり、学校調査

実施当時よりも増加しています。

また、京都みらいネット以外の接続先の主なものとして商用プロバイダ、市町村ネットがあげられます。

表 2 - 3 インターネットとの接続率

校 種	接 続 率 (京都みらいネットへの接続率)
小 学 校	27.9 % ( 18.9 % )
中 学 校	38.4 % ( 21.2 % )
全 体	35.3 % ( 25.2 % )

[ 設問 5 ]

あなたの学校では、情報通信ネットワークの教育利用にかかわってネットワーク担当者が決まっていますか。該当するものについて回答欄に 印を記入してください。

次の図 2 - 8 は [ 設問 5 ] における回答状況を示したものです。

高等学校と盲・聾・養護学校においては担当者が配置されている割合が60%以上あり、兼任を含めると70%です。しかし小学校、中学校においては専任としては10%前後にとどまっており、兼任が多いということが分かります。

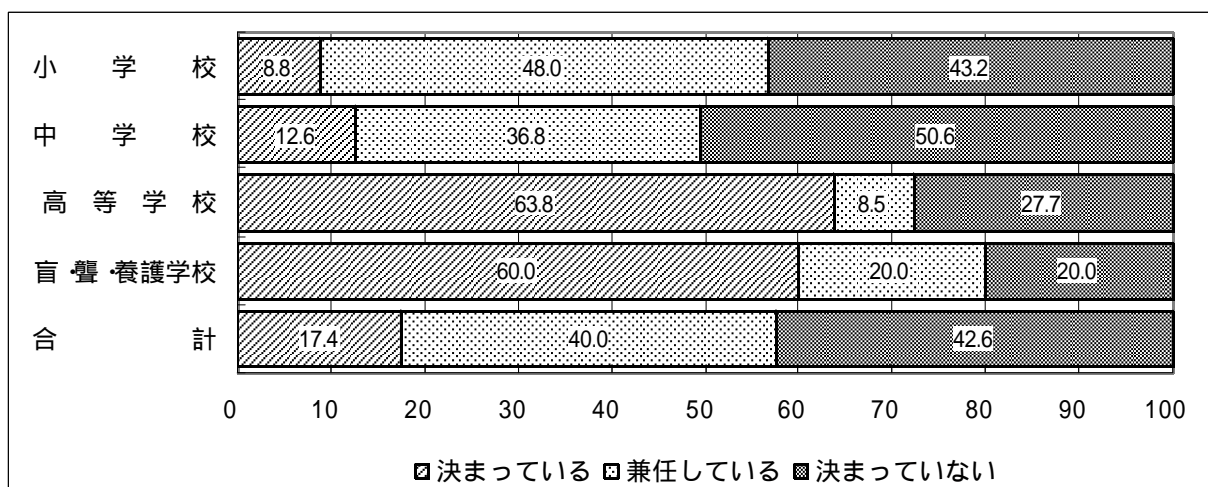


図 2 - 8 ネットワーク担当者の配置状況

単位 (%)

[ 設問 6 ]

あなたの学校では、情報通信ネットワークの教育利用を進めるための校務分掌上の組織がありますか。該当するものについて回答欄に 印を記入してください。

【回答の状況】

次の図 2 - 9 は [ 設問 6 ] における回答状況を示したものです。

ネットワークを教育利用するための校務分掌上の組織の設置状況は盲・聾・養護学校においては 70 % 以上ですが、小学校、中学校、高等学校では 30 ~ 40 % 台、全体としては 35.7 % と

なっています。

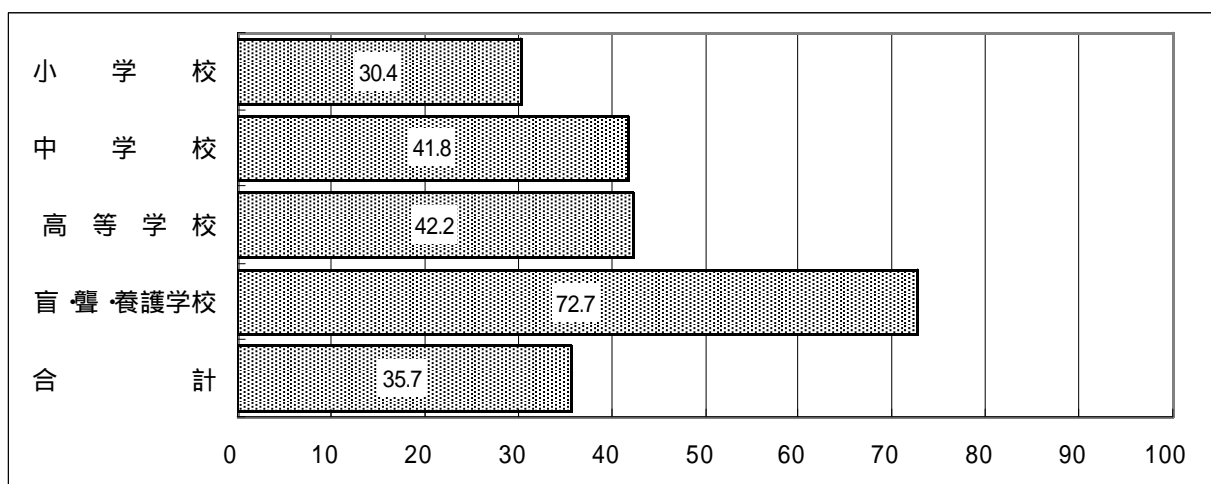


図 2 - 9 ネットワークを教育利用するための校務分掌 単位 (%)

〔設問 7〕

あなたの学校では、本年度、情報教育や情報通信ネットワークに関してどのような校内研修が計画されていますか。該当するものについて回答欄に  印を記入してください。(複数回答可)

(回答欄)	実施済	計画中	研 修 内 容
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ワープロソフトの操作や活用
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	表計算ソフトの操作や活用
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	データベースソフトの操作や活用
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	インターネットについての基礎知識
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ブラウザの操作やWWWの利活用
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	電子メールの操作や活用
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他( )

【回答の状況】

次の図 2 - 10 と図 2 - 11 は〔設問 7〕における回答状況を示したものです。

校内研修の実施校は全体で 85.9 %と多くの学校で取り組まれています。研修内容については校種による違いはありますが「教科教育」「ワープロ」「表計算」「インターネットの基礎」「電子メール活用」「WWW活用」といったコンピュータ基礎からインターネット関係の研修が多く見られ、校内の機器整備の進行に合わせ、コンピュータ基礎からネットワーク活用への順を追った校内研修が取り組まれていることがうかがえます。校種による違いとしては、高等学校及び盲・聾・養護学校ではネットワークに重点が移っていることが分かります。

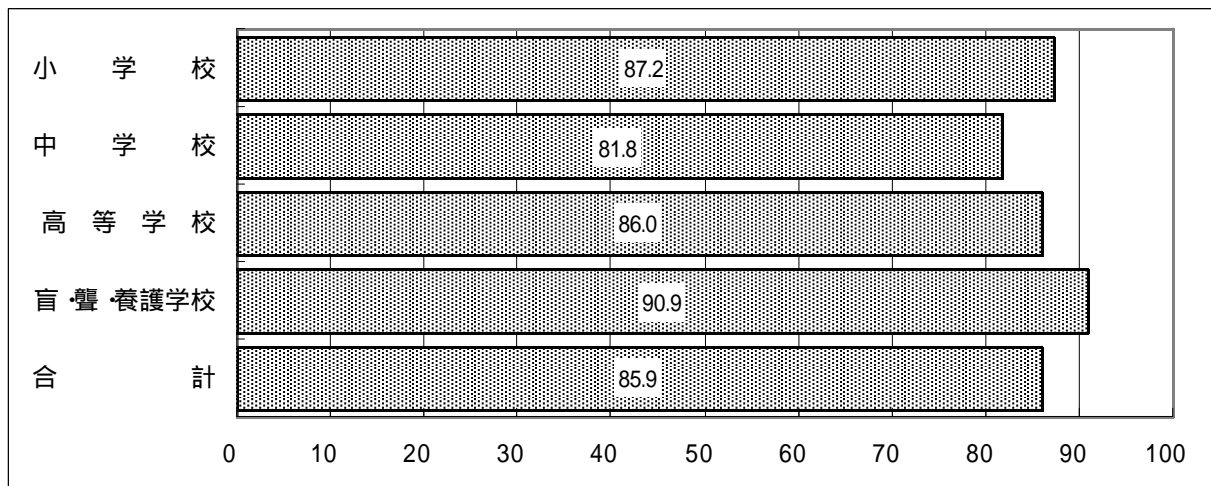


図 2 - 10 情報教育に関する校内研修の実施率 単位 (%)

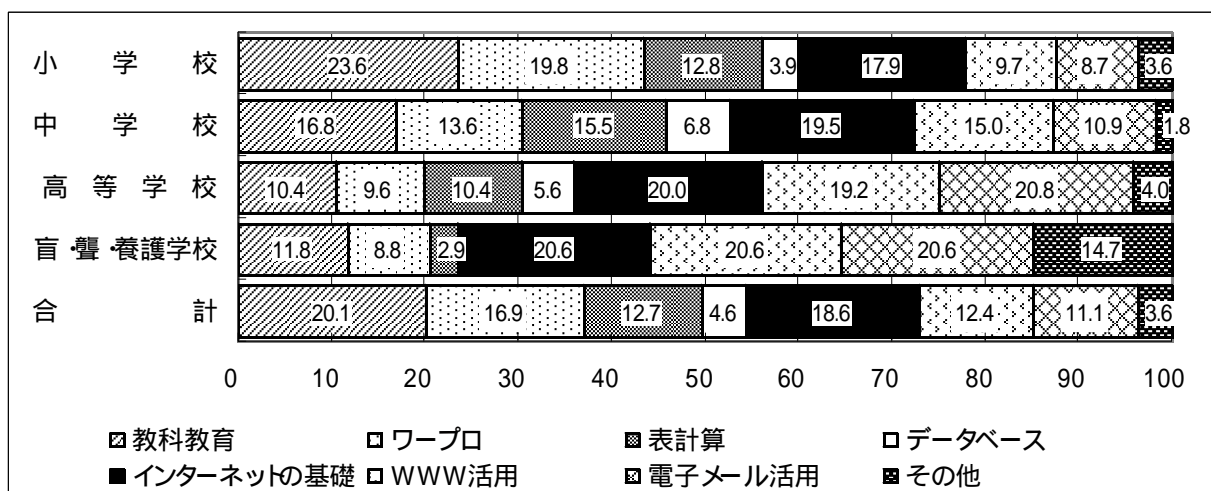


図 2 - 11 情報教育に関する校内研修の実施状況 単位 (%)

〔設問 8〕

あなたの学校において情報通信ネットワークを教育利用する上での課題と思われる点を回答欄に記入してください。(自由記入欄)

【回答の状況】

この調査結果で最も多かったのは「校内研修の充実」の課題でした。ネットワークの教育利用についての有用性は十分感じており、教育実践を行うには更に研修を深める必要があるという回答が多く見られました。次に多かったものは「設備の充実」の課題でした。その次に多かったものに「指導者の充実」の課題あげられます。「学校にネットワークの教育利用を指導する者がほしい」「ネットワークに関する知識を身につけたい」などが主な回答でした。更に、「具体的指導内容の充実」「授業での効果的な活用」など実践的課題を含む意見もありました。

[ 設問 9 ]

学校から京都みらいネットを利用する際にどのようなサービスを望みますか。回答欄に記入してください。(自由記入欄)

【回答の状況】

この調査で最も多くの回答があったのは、教職員全員のメールアドレスの希望で、京都みらいネットが開通の当初から教職員の希望者全員に電子メールアドレスを発行していることについて、広報活動に一層努めなければならないことを示しています。また、京都みらいネットに期待する付加サービスとして「メール配信、メーリングリスト、電子掲示板の設置」などの回答もありました。このことから情報通信ネットワークの教育利用については、まず教職員自らが、情報通信ネットワークを活用し、教職員のコンピュータリテラシーを向上させることが前提であると考えられていることがうかがえます。

また、情報通信ネットワークの教育利用については、まず「学習に有効利用できそうなリンク集の充実」次いで「活用事例の紹介」が続いており、より具体的な教育情報の提示が望まれていることがうかがえます。

その他、「アクセスポイントの増設」「校内研修への支援」「ホームページづくりのアドバイス、サンプル紹介」「センター内の教育資料、ソフトウェアの活用例などの紹介」「何でもサポート窓口」などがありました。また、実際に情報通信ネットワークを学校教育で活用する際には、多数のコンピュータが同時にインターネットに接続することが予想されるため、「設備の充実」や「高速回線の設置」「テレビ会議システムの環境整備」など、ネットワーク担当者の立場から考えられた積極的な回答が寄せられています。